

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年2月14日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7264 URL <https://www.muro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,329	12.2	1,119	116.6	1,531	104.1	1,104	206.9
2021年3月期第3四半期	13,658	△15.4	516	△46.3	750	△29.8	359	△51.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,439百万円 (263.9%) 2021年3月期第3四半期 395百万円 (△46.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	182.77	—
2021年3月期第3四半期	59.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	27,281	19,011	69.7
2021年3月期	26,753	17,795	66.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 19,011百万円 2021年3月期 17,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2022年3月期	—	22.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,361	7.4	972	△2.6	1,503	△5.4	1,017	4.4	168.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	6,546,200株	2021年3月期	6,546,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	504,062株	2021年3月期	504,062株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	6,042,138株	2021年3月期3Q	6,042,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対応するワクチン接種が進んで回復基調となりましたが、サプライチェーンの混乱とインフレにより回復しきれずに推移しました。昨年末からは世界中でオミクロン株が大流行し、ロシアがウクライナに侵攻する気配を見せたり、北朝鮮がミサイルを頻繁に発射したりするなど地政学的なリスクも増大してきており、これがまた資源価格を上昇させる要因になるなどこの傾向は今後しばらく続くものと思われ、不安定な状態が続くそうです。

国内経済につきましては、10月頃からワクチン接種率が一定水準に達したためか新型コロナウイルスの感染者も減少し、感染の縮小と共に景気も回復基調となりましたが、サプライチェーンの混乱と資源高等により足踏みしました。今年に入ってから何とか抑え込んでいたオミクロン株の感染が爆発し、資源高と円安により物価も上昇し始め、経済にとっては悪い環境になっています。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は15,329百万円（前年同期比12.2%増）と9月からの客先の減産が響き伸び悩みましたが、前年同期が大きな減少であったこともあり増加となりました。売上増に伴い、営業利益は1,119百万円（前年同期比116.6%増）、円安に推移したことにより142百万円の為替差益が発生し、経常利益は1,531百万円（前年同期比104.1%増）、前年同期負担となった過年度分利益課税が無くなったことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,104百万円（前年同期比206.9%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 金属関連部品

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、13,401百万円（前年同期比11.9%増）となりました。前年同期が大きな減少であったため累計期間では増加となりましたが、上半期は好調に推移したものの9月以降はサプライチェーンの混乱に伴う半導体等の部品調達難により客先が減産となったため、当第3四半期での売上は前年同期に比べ減少しました。

② 樹脂関連部品

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、1,236百万円（前年同期比18.1%増）となりました。上半期は急回復しましたが、当第3四半期は金属関連部品事業と同様の理由により減速しました。

③ その他

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、691百万円（前年同期比9.4%増）となりました。海外は経済回復傾向によりカナダと豪州、欧州で増加しました。国内についても緊急事態宣言等の影響で経済活動に制限はありましたが、回復基調で推移したため増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ527百万円増加し、27,281百万円となりました。主な増加は電子記録債権252百万円、商品及び製品219百万円、有形固定資産652百万円であり、主な減少は現金及び預金897百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ688百万円減少し、8,269百万円となりました。主な増加は電子記録債務489百万円、長期借入金281百万円であり、主な減少は短期借入金1,490百万円、賞与引当金284百万円であります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,216百万円増加し、19,011百万円となりました。主な増加は為替換算調整勘定334百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,104百万円であり、主な減少は剰余金の配当金265百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は69.7%（前連結会計年度は66.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の状況、今後の事業環境等を勘案し、当期の業績予想の見直しを行った結果、2021年8月5日に公表いたしました2022年3月期通期における業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2022年2月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,845,484	6,948,031
受取手形及び売掛金	2,930,769	3,128,194
電子記録債権	1,715,077	1,967,759
有価証券	230,476	225,612
商品及び製品	660,025	879,639
仕掛品	394,039	493,400
原材料及び貯蔵品	355,607	414,419
その他	478,801	642,796
流動資産合計	14,610,282	14,699,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,933,725	8,252,806
減価償却累計額	△4,378,838	△4,599,425
建物及び構築物(純額)	3,554,887	3,653,380
機械装置及び運搬具	13,571,864	14,697,359
減価償却累計額	△11,096,615	△11,698,667
機械装置及び運搬具(純額)	2,475,248	2,998,692
土地	1,466,512	1,497,213
建設仮勘定	458,382	434,716
その他	6,079,912	6,265,441
減価償却累計額	△5,588,297	△5,750,020
その他(純額)	491,614	515,421
有形固定資産合計	8,446,645	9,099,423
無形固定資産		
のれん	75,314	56,485
その他	269,977	267,017
無形固定資産合計	345,291	323,503
投資その他の資産		
投資有価証券	2,098,448	2,028,813
長期貸付金	64,007	8,228
繰延税金資産	53,090	53,017
退職給付に係る資産	110,323	128,454
その他	1,029,497	944,071
貸倒引当金	△4,280	△4,280
投資その他の資産合計	3,351,087	3,158,306
固定資産合計	12,143,023	12,581,233
資産合計	26,753,306	27,281,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,076,573	1,297,963
電子記録債務	2,479,204	2,968,226
短期借入金	2,450,000	960,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	71,912	67,076
未払金	769,487	669,504
未払法人税等	345,758	127,900
賞与引当金	622,245	337,317
役員賞与引当金	26,090	34,083
その他	745,453	1,043,813
流動負債合計	8,596,724	7,515,885
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	100,849	382,468
繰延税金負債	149	114,390
役員退職慰労引当金	21,131	22,876
その他	228,593	228,562
固定負債合計	360,724	753,298
負債合計	8,957,449	8,269,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	15,871,569	16,752,380
自己株式	△395,383	△395,383
株主資本合計	17,475,572	18,356,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464,363	485,493
為替換算調整勘定	△281,769	52,326
退職給付に係る調整累計額	137,690	117,700
その他の包括利益累計額合計	320,284	655,520
純資産合計	17,795,857	19,011,903
負債純資産合計	26,753,306	27,281,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	13,658,266	15,329,553
売上原価	11,379,753	12,127,407
売上総利益	2,278,512	3,202,145
販売費及び一般管理費	1,761,612	2,082,381
営業利益	516,900	1,119,764
営業外収益		
受取利息	32,159	17,045
受取配当金	20,171	26,911
太陽光売電収入	9,027	9,439
補助金収入	225,710	1,184
為替差益	—	142,369
その他	75,611	229,456
営業外収益合計	362,680	426,408
営業外費用		
支払利息	11,636	6,744
為替差損	110,355	—
減価償却費	3,600	3,175
その他	3,828	4,887
営業外費用合計	129,420	14,807
経常利益	750,160	1,531,364
特別利益		
固定資産売却益	896	2,080
投資有価証券売却益	—	14
段階取得に係る差益	—	7,350
負ののれん発生益	—	37,803
特別利益合計	896	47,248
特別損失		
固定資産除却損	618	1,863
有価証券償還損	2,745	—
特別損失合計	3,363	1,863
税金等調整前四半期純利益	747,694	1,576,749
法人税、住民税及び事業税	144,779	366,355
過年度法人税等	66,743	—
法人税等調整額	176,311	106,059
法人税等合計	387,834	472,414
四半期純利益	359,859	1,104,335
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	359,859	1,104,335

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	359,859	1,104,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161,452	21,130
為替換算調整勘定	△168,291	334,095
退職給付に係る調整額	42,585	△19,990
その他の包括利益合計	35,746	335,235
四半期包括利益	395,606	1,439,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,606	1,439,571
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

特定子会社には該当しておりませんが、2021年6月4日付けで3MT(THAILAND)CO., LTD. の株式を追加取得したことに伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。同社の決算日は12月31日であります。

なお、第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。これにより、従来、金型売上の一部について一定期間で収益認識しておりましたが、一時点の収益認識としております。また、従来、売上原価として計上していた一部の費用について、第1四半期連結会計期間より顧客へ支払われる対価として、売上高から減額しております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は396,421千円減少し、売上原価は414,756千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ18,335千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は42,328千円増加しております。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	11,978,627	1,047,672	13,026,299	631,966	13,658,266	—	13,658,266
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	5,534	5,534	—	5,534	△5,534	—
計	11,978,627	1,053,206	13,031,834	631,966	13,663,800	△5,534	13,658,266
セグメント 利益又はセ グメント損 失(△)	1,003,350	△73,919	929,430	87,398	1,016,829	△499,928	516,900

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業等事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△499,928千円には、セグメント間取引消去△5,534千円、報告セグメントに配分していない全社費用△494,393千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	13,401,363	1,236,879	14,638,243	691,310	15,329,553	—	15,329,553
セグメント間の内部 売上高 又は振替 高	—	14,534	14,534	—	14,534	△14,534	—
計	13,401,363	1,251,413	14,652,777	691,310	15,344,087	△14,534	15,329,553
セグメント 利益又はセ グメント損 失(△)	1,577,799	△7,103	1,570,695	107,306	1,678,002	△558,238	1,119,764

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△558,238千円には、セグメント間取引消去△14,534千円、報告セグメントに配分していない全社費用△543,704千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「金属関連部品事業」の売上高は396,421千円減少し、セグメント利益は18,335千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「金属関連部品事業」セグメントにおいて、3MT(THAILAND)CO., LTD.の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。

当該事象による負ののれん発生益の計上は、37,803千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(収益認識関係)

当社グループは主として自動車メーカー向けの部品供給事業を中心に事業活動を行っております。売上高を顧客の所在地を基礎とした地域に分類しております。

分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりです。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計		
日本	11,644,056	1,130,255	12,774,312	137,294	12,911,607
北米	1,199,249	—	1,199,249	376,800	1,576,050
東南アジア	554,224	106,623	660,848	—	660,848
その他	3,832	—	3,832	177,215	181,047
外部顧客への売上高	13,401,363	1,236,879	14,638,243	691,310	15,329,553

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。